

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：ミアヘルサ株式会社

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数			実施内容	
1 職務の理解 6 時間			通学	通信	合計	1 職務の理解 (1) 講義及び演習:介護保険サービスのあり方や意味についてについてグループで話し合う。 (2) 講義のみ。
	(1) 多様なサービスの理解		3		3	
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		3		3	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 9 時間			通学	通信	合計	2 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 通信講習のみ。 (2) 用しながらの自立支援や介護予防について、グループで話し合う。
	(1) 人権と尊厳を支える介護			4.5	4.5	
	(2) 自立に向けた介護	1.5	3	4.5		
3 介護の基本 6 時間			通学	通信	合計	3 介護の基本 (1) 講義及び演習:多職種連携について共通の役割とサービスを踏まえ、介護と医療の連携について、グループで話し合う。 (2) 講義のみ。 (3) 通信講習のみ。 (4) 通信講習のみ。
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		2		2	
	(2) 介護職の職業倫理		1		1	
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント			2	2	
	(4) 介護職の安全			1	1	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9 時間
(1) 介護保険制度		
(2) 障害福祉制度及びその他制度		
(3) 医療との連携とリハビリテーション		
5 介護におけるコミュニケーション技術		6 時間
(1) 介護におけるコミュニケーション		
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		
6 老化の理解		6 時間
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常		
(2) 高齢者と健康		
7 認知症の理解		6 時間
(1) 認知症を取り巻く状況		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		
(4) 家族への支援		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9 時間	通学	通信	合計
(1) 同左		1.5	1.5	3	
(2) 同左			3	3	
(3) 同左			3	3	
5 介護におけるコミュニケーション技術		6 時間	通学	通信	合計
(1) 同左		1.5	1.5	3	
(2) 同左		1.5	1.5	3	
6 老化の理解		6 時間	通学	通信	合計
(1) 同左		3	1	4	
(2) 同左			2	2	
7 認知症の理解		6 時間	通学	通信	合計
(1) 同左		1	0.5	1.5	
(2) 同左			1.5	1.5	
(3) 同左		1	0.5	1.5	
(4) 同左		1	0.5	1.5	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1) や要介護者と要支援者を対象としたサービスの種類と手続きの流れについてグループで話し合う。	
(2) 通信講習のみ。	
(3) 通信講習のみ。	
5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1) 通信講習及び講義。	
(2) 通信講習、講義及び演習：事例に基づき、ロールプレイング(介護役と関連職役と利用者役)をし、介護個別援助計画書の書き方を体験する。	
6 老化の理解	
(1) 通信講習、講義及び演習：老化に伴う生理的な変化や精神面に関する変化をグループで話し合う。	
(2) 通信講習のみ。	
7 認知症の理解	
(1) 通信講習及び講義。	
(2) 通信講習のみ。	
(3) 通信講習、講義及び演習：事例に基づき、認知症の方の支援方法をグループで話し合う。	
(4) 通信講習及び講義。	

8 障害の理解		3 時間
(1) 障害の基礎的理解		
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75 時間
ア 基本知識の学習		10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方		
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間
(4) 生活と家事		
(5) 快適な居住環境整備と介護		
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		

8 障害の理解		3 時間		
	通学	通信	合計	
(1) 同左	0.5	0.5	1	
(2) 同左	0.5	0.5	1	
(3) 同左	0.5	0.5	1	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75 時間		
ア 基本知識の学習		13 時間		
	通学	通信	合計	
(1) 同左		2	2	
(2) 同左	4	0.5	4.5	
(3) 同左	5.5	1	6.5	
イ 生活支援技術の講義・演習		52 時間		
	通学	通信	合計	
(4) 同左	6	2	8	
(5) 同左		6.5	6.5	
(6) 同左	4		4	
(7) 同左	6		6	
(8) 同左	6.5		6.5	
(9) 同左	6		6	
(10) 同左	6		6	

8 障害の理解		
(1) 通信講習及び講義。		
(2) 通信講習、講義及び演習：事例に基づき二人一組で障害者の支援のあり方について話し合う。		
(3) 通信講習及び講義。		
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		
ア 基本知識の学習		
(1) 通信講習のみ。		
(2) 通信講習及び講義及び演習：加齢に基づく体の状態が心に与える影響を少人数のグループで話し合う。		
(3) 通信講習及び講義。		
イ 生活支援技術の講義・演習		
(4) 通信講習、講義及び演習：利用者が寝ている場合と寝ていない場合のシーツ交換の実技演習を行う。		
(5) 通信講習のみ。		
(6) 講義及び演習：介護役と利用者役となり、衣服の着脱及び身支度など整容行動に関する実技演習を実施する。		
(7) 講義及び演習：体位変換・車椅子・杖歩行の実技演習を実施する。車椅子と杖歩行は研修室内で段差越えを実施する。		
(8) 講義及び演習：疾患別の事例に基づき、福祉用具などを使用し、食事介助及び口腔ケアの実技演習を実施する。		
(9) 講義及び演習：入浴用の福祉用具を使用した浴槽の出入り・足浴・洗髪・清拭を実技演習する。		
(10) 講義及び演習：ポータブルトイレの活用・紙おむつの交換方法を実技演習で実施する。		